

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公開番号】特開 2020-68782 (P2020-68782A)

【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2020-018

【出願番号】特願 2018-202412 (P2018-202412)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 7 日 (2020.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に遊技媒体を発射して遊技を行うことが可能な遊技機であって、
所定状態に関する関連表示を表示可能な表示手段を備え、
前記表示手段は、

複数の方向に延びるように形成された前記関連表示を表示可能であり、

前記表示手段の表示領域内において文字列が移動するとともに、前記表示手段の表示領域内において該文字列に含まれる全ての文字が常に表示される態様により前記関連表示を表示可能であり、

遊技媒体が流下する流下経路のうちの第 1 経路に向けて遊技媒体を発射する第 1 所定状態に関連して、前記表示手段の表示領域内において複数の前記文字列を前記第 1 経路と対応する方向に向けて移動させる態様により前記関連表示を表示可能であるとともに、前記流下経路のうちの前記第 1 経路とは異なる第 2 経路に向けて遊技媒体を発射する第 2 所定状態に関連して、前記表示手段の表示領域内において複数の前記文字列を前記第 2 経路と対応する方向に向けて移動させる態様により前記関連表示を表示可能であり、

態様が異なる複数の前記関連表示を並行して表示可能であり、一の前記関連表示を他の前記関連表示に重ねて表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技領域に遊技媒体を発射して遊技を行うことが可能な遊技機であって、
所定状態に関する関連表示を表示可能な表示手段を備え、
前記表示手段は、

曲線状に形成された前記関連表示を表示可能であり、

前記表示手段の表示領域内において文字列が移動するとともに、前記表示手段の表示領域内において該文字列に含まれる全ての文字が常に表示される態様により前記関連表示を表示可能であり、

遊技媒体が流下する流下経路のうちの第 1 経路に向けて遊技媒体を発射する第 1 所定状態に関連して、前記表示手段の表示領域内において複数の前記文字列を前記第 1 経路と対応する方向に向けて移動させる態様により前記関連表示を表示可能であるとともに、前記流下経路のうちの前記第 1 経路とは異なる第 2 経路に向けて遊技媒体を発射する第 2 所

定状態に関連して、前記表示手段の表示領域内において複数の前記文字列を前記第 2 経路と対応する方向に向けて移動させる態様により前記関連表示を表示可能であり、

態様が異なる複数の前記関連表示を並行して表示可能であり、一の前記関連表示を他の前記関連表示に重ねて表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【**手続補正 2**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0 0 1 1

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0 0 1 1】

(A) 本発明による遊技機は、遊技領域に遊技媒体を発射して遊技を行うことが可能な遊技機であって、所定状態に関する関連表示を表示可能な表示手段を備え、表示手段は、複数の方向に延びるように形成された関連表示を表示可能であり、表示手段の表示領域内において文字列が移動するとともに、表示手段の表示領域内において該文字列に含まれる全ての文字が常に表示される態様により関連表示を表示可能であり、遊技媒体が流下する流下経路のうちの第 1 経路に向けて遊技媒体を発射する第 1 所定状態に関連して、表示手段の表示領域内において複数の文字列を第 1 経路と対応する方向に向けて移動させる態様により関連表示を表示可能であるとともに、流下経路のうちの第 1 経路とは異なる第 2 経路に向けて遊技媒体を発射する第 2 所定状態に関連して、表示手段の表示領域内において複数の文字列を第 2 経路と対応する方向に向けて移動させる態様により関連表示を表示可能であり、態様が異なる複数の関連表示を並行して表示可能であり、一の関連表示を他の関連表示に重ねて表示可能であることを特徴とする。

(1) 他の遊技機は、遊技を行う遊技機であって、所定状態に関する関連表示（例えば、演出解説画像 2 0 0 c や演出解説画像 2 0 0 e）を表示可能な表示手段（例えば、演出表示装置 9）を備え、表示手段は、複数の方向に延びるように形成された関連表示を表示可能である（例えば、ジグザグ状の矢印型領域を含む態様により構成された演出解説画像 2 0 0 c や、鉛直方向に延びた領域と水平方向に延びた領域（厳密には、水平方向に延びるように見える平面上に描写された領域）を含む態様により構成された演出解説画像 2 0 0 e など。図 3 5，図 3 6 参照）ことを特徴とする。

そのような構成によれば、関連表示を効果的に表示することができ、演出効果を高めることができる。

【**手続補正 3**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0 0 1 2

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【0 0 1 2】

(B) 本発明による他の態様の遊技機は、遊技領域に遊技媒体を発射して遊技を行うことが可能な遊技機であって、所定状態に関する関連表示を表示可能な表示手段を備え、表示手段は、曲線状に形成された関連表示を表示可能であり、表示手段の表示領域内において文字列が移動するとともに、表示手段の表示領域内において該文字列に含まれる全ての文字が常に表示される態様により関連表示を表示可能であり、遊技媒体が流下する流下経路のうちの第 1 経路に向けて遊技媒体を発射する第 1 所定状態に関連して、表示手段の表示領域内において複数の文字列を第 1 経路と対応する方向に向けて移動させる態様により関連表示を表示可能であるとともに、流下経路のうちの第 1 経路とは異なる第 2 経路に向けて遊技媒体を発射する第 2 所定状態に関連して、表示手段の表示領域内において複数の文字列を第 2 経路と対応する方向に向けて移動させる態様により関連表示を表示可能であり、態様が異なる複数の関連表示を並行して表示可能であり、一の関連表示を他の関連表示に重ねて表示可能であることを特徴とする。

(2) 他の態様の遊技機は、遊技を行う遊技機であって、所定状態に関する関連表示（例えば、右打ち指示画像 2 0 0 a や左打ち指示画像 2 0 0 b、操作指示画像 2 0 0 d）を表示可能な表示手段を備え、表示手段は、曲線状に形成された関連表示を表示可能である（例えば、図 3 3 ~ 図 3 4，図 3 7 参照）ことを特徴とする。

そのような構成によれば、関連表示を効果的に表示することができ、演出効果を高めることができる。